

「ふるさと教育」を基盤とした生徒の育成

北海道利尻高等学校 学級数5 (校長 阿部 穰)

1 本校の概要

北海道の最北部に位置する円形状の利尻島は、利尻富士町と利尻町の2つの自治体により構成され、利尻高校は利尻町に所在し、今年創立63年を迎える道立全日制の普通科・商業科併置校である。昭和63年(1988年)、第1回ふるさと教育(利尻山全校登山)を実施して以来、利尻島にある自然豊かな資源を基に、地域と連携を図りながら教育活動を行っている。特に、平成27年度(2015年度)には、北海道教育委員会「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」の研究指定を受け、発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実をテーマに、地域の小学校・中学校と連携し、12年間のキャリア教育の在り方について実践研究を行った。

また、令和元年度(2019年度)には、文部科学省委託「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の指定を受け、高等学校における道徳教育の推進に向け、教育活動の改善と充実を図る研究を行い、令和2年度(2020年度)、北海道教育委員会「地域連携研修」主体校として、前年度に引き続いて研究を推進し、地域や圏域での成果の共有を図っている。

2 実践の内容

(1) 「ふるさと教育」の取組

「離島だからこそできる特色ある活動」を念頭に、様々な変遷を辿りながら、ふるさと教育を進めてきた。当初は全島一周、利尻山登山、礼文島トレッキングを3本柱とする取組を行ってきたが、人口減少、グローバル化など、急激に変化する社会の到来を迎え、これまで伝統としてきた自然体験を中心とするふるさと教育を、生徒の安全や運用面等も考慮し、平成28年度(2016年度)に内容を再構築し、資料1に示した能力・態度の育成を目指し、資料2のとおり、9つの分野からなる新たなふるさと教育の取組を策定した。これらの教育実践を通じて、利尻の魅力が島内外、後世に伝えられる生徒、利尻を愛し誇りに思う気持ちと広い視野をもち、未来をたくましく生きるとともに地域の創生、発展に貢献する生徒を育成することを目標とした。



【全島一周「悠遊覧人G」への参加】

資料1 ふるさと教育を通して育成を図る能力・態度

能力・態度	内容	関連する能力・態度
醇風	純粹で温かく、人情味のある心	ボランティア精神、ホスピタリティなど
剛健	如何なる困難にも打ち克つたくましいところと体	忍耐力、継続力など
郷土愛	ふるさと利尻を愛し、誇りに思う気持ち、持続的な展開を願う気持ち	自己肯定感など
多角的視野	ふるさと利尻と島外、海外との違いを客観的に把握するなど、多様な価値観を理解する力	異文化理解、国際感覚

チャレンジ精神	自分の限界や新しいことに挑戦しようとする態度	自立心、開拓心など
創造力	ふるさと利尻の未来に向けたアイデアを考えるなど、新たなものを生み出す力	思考力、探究心など
発信力	ふるさと利尻の魅力をはじめ、様々なことを人に伝える力	プレゼンテーション能力など
コミュニケーション力	出身地や立場、文化の違う様々な人たちと互いに考えや気持ちを伝え合いつなげる力	人間関係構築力など

資料2 ふるさと教育における9つの分野



【礼文島での宿泊研修】



【利尻山登山】



【マクドナルドアメリカ短期留学】

ウ ふるさと教育の顕彰制度

9つの分野のうち、「全島一周」、「利尻山登山」、「ふるさと学習」、「ふるさと貢献」の4つの分野において、次のとおり、生徒の貢献度に応じた顕彰制度を導入している。

(ア) 「利高ふるさとマイスター」の認定

- ・卒業までに資料3にあるいずれか3つの分野で認定された場合、「利高ふるさとマイスター」として表彰される。
- ・卒業までに資料3にある4つの分野を全て認定された場合、「利高グランドふるさとマイスター」として表彰される。

資料3 利高ふるさとマイスターの認定条件

利高ランナー認定 「全島一周」	3年間で「1回以上全島一周」又は60Km以上走破
利高アルピニスト認定 「利尻山登山」	3年間で「1回以上・9合目以上まで到達又は自主登山をし、証明写真にて認められた場合
利高スカラー認定 「ふるさと学習」	「知識・理解領域の必須6科目(600点満点)のうち400点以上」かつ、「思考・表現・探究領域の必須5科目と選択科目を合わせたうちの5科目以上でB評価以上」
利高ボランティア認定 「ふるさと貢献」	3年間で「10回以上認定対象となる地域行事への貢献」 ※ふるさと貢献証明書、レポート(感想文)の提出有

(1) 特別表彰

各分野毎に設定した高度な基準を満たした生徒をそれぞれ表彰している。

- ・利高ウルトラランナー ・ ・ 3年連続で全島一周
- ・利高スーパーアルピニスト ・ ・ 3年連続で山頂まで到達
- ・利高エクセレントスカラー ・ ・ 知識・理解領域の必須6科目 480点以上
かつ、思考・表現・探究領域のA評価が4科目以上
- ・利高スターボランティア ・ ・ 3年間で20回以上認定対象となる地域行事への貢献

(2) 高等学校における道德教育の抜本的改善・充実を図る取組

令和元年度(2019年度)、文部科学省委託「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を受け、研究主題「考え、議論する道德への発展」の下、生徒が人間としての在り方生き方について考えを深め、自尊感情や規範意識を育むとともに、現代社会の課題に主体的に対応できる資質や能力を育成するための指導方法の研究に取り組んだ。本校



では、人間としての在り方生き方に関する教育について、ふるさと教育を中心に、総合的な探究の時間や特別活動において推進してきた。このことを踏まえ、高等学校における道德教育について、学校全体で道德教育の視点に基づく教育活動の充実を図るため、科目「政治・経済」、「家庭総合」、「経済活動と法」の学習内容に、中学校道德の内容項目を取り入れた研究授業を実施するなどの取組も行った。

令和2年度(2020年度)も、引き続き道德教育の充実を図るため、「国語表現」、「数学I」、「コミュニケーション英語II」、「家庭総合」の研究授業を行った。また、95歳の本校



元PTA会長によるシベリア抑留の体験等を含めた「ふるさと教育講演会」や、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の飯塚秀彦氏による「高等学校における道德教育について」を演題とした記念講演を行った。さらには、島内小・中学校の教員や教育委員会関係者とも、研究授業や研究協議等を通して、連携を図った。

(3) 「利尻高校生徒育成ビジョン」の策定

令和2年度(2020年度)から、学校教育目標の一部を改定し、「幅広い知識や教養を身に付け、これらを活用する力や自ら学ぶ意欲を高める人」という文言を加えるとともに、資料4のとおり、育成を図る能力・態度を「知(知性)」「徳(人間性)」「体(健全な

